

2025 総特集版

Price ¥0

元気な共学校

元気な学校 Web版

genkina-gakko.jp



元気な

駒込中学校・高等学校



“一隅を照らす”

中学高校時代の6年間は、人間形成の上で最も大切なときです。価値観が多様化し、人々の心のあり方があらためて問われている今、次世紀を担う若い世代の教育こそ私たちに課せられた使命です。

駒込学園は・伝教大師・最澄の「国宝とはなにものぞ一隅を照らす、これすなわち国宝なり」という言葉を建学の精神として、340年の伝統を守り続けてきました。私たちは宇宙からみると、点のような小さなところ（一隅）で生きています。たとえ、小さくてもいい、今こそ、私たち一人ひとりがこの一隅でお互いが、かけがえのない貴い存在であることを認め合い、さらなる向上心をもって生きていく“一隅を照らす光り輝く人間”になるべきときなのです。

私たちは、このように考え、人間としてのあるべき姿を求め続けています。

Genkina-Kyogakuko



駒込中学校・高等学校

〒113-0022 東京都文京区千駄木5-6-25
tel 03-3828-4141 web <https://www.komagome.ed.jp/>



元気な共学校 —その条件と時代性—

「共学イズム」とは何か！

女子校の校名には必ず「女子」がつく。「〇〇女子高等学校」と。しかし「〇〇男子中学高等学校」や「〇〇共学中学高等学校」とは決して呼ばれない。ここに本邦における明治維新以来の学校教育の歴史的本質が秘められている。即ち、明治以来の我が国の学校教育は列強に抗して近代化を図るための富国強兵政策の下での男子教育学校作りであった。よって、学校名に男子をつける必要はなかった。女子は銃後を守る立場とされ、尋常小学校止まりで高等教育からは除外された。この政府の方針に対し異議を申し立てた女性たちがいた。彼女らは男女平等を主張し、政府が女子教育を行わないのなら民間の手で女子教育を行うと宣言し女子校を立ち上げて行なった。この時、校名に「女子」がつくのである。私学女子校の始まりである。

ところで本邦は第二次世界大戦の敗北により、GHQによって戦後の公立学校は全て共学化された。だがその運営に関してはまだ昭和16年体制と呼ばれる「男尊女卑」政策が色濃く残っている。真の「共学イズム」とは何かが問われて来なかったからである。したがって、我が国の学校教育を男女平等思想で構築しなおすには、機械的な男女平等を唱えるのではなく、「女性学」を中心にした共学校作りが必要である。

本校は戦後民主主義の砦としていち早く共学化を行ったが、この「女性学」の視点を導入し、現在も男女の特性に基づいた別枠授業も実施している。いわゆる「中性化授業」は行っていない。もちろんジェンダー問題に関してはきちんとした人権保障を行いながら対応している。本校には自立した「ハラスメント防止委員会」がカウンセラー指導員を中心に立ち上がっており、何かあればリアルタイムで対応している。

卒業式の日、ジェンダー生徒が校長室にあいさつに来てくれた。「私が難関志望大学に合格出来たのも、理解のあるクラスメイト達と楽しい学校生活が送れたからです」とにこやかに感謝を述べて巣立っていった。何よりのことである！「元気な共学校！」それは歴史性と論理性をしっかりと踏まえて「ハラスメント対策」のできた共学校のことである。

ところで、時代はVUCA（不確実性）時代に突入している。大国を中心とした「自国ファースト」が大手を振ってまかり通っており、経済戦争の様相まで噴出し始めている。この時、次世代を担う生徒たちに与えるべき能力は、フエイク情報に流されずに、世界の将来をグローバルに俯瞰し、情勢に応じて機敏に行動し、科学的に振り返る「AAR能力」を身につけさせることである。女子だからと言って「一般教養主義教育」

で終わりとする時代ではない。本校では「グローバル・デジタル人材」を男女問わず育成している。ある女子生徒は東京都主催のベンチャー企業立ち上げコンテストで優秀賞に輝き、ベンチャー企業を2社立ち上げ、社長となって卒業していった。時代はすでにここまで来ている。元気な共学校、それは時代の花形女子を世に送り出す学校のことである。



卒業生からのメッセージ

植田 裕夏さん 東京理科大学 工学部 電気工学科



駒込学園では共に高め合った仲間や支えてくださった先生方に囲まれ、好きなことを探究できる恵まれた環境で6年間過ごしました。先生方はとても熱心で授業はわかりやすく、常に私たちに寄り添ってくださりました。また部活がある中、思うように成績が伸びなくて悩んでいた時も親身に相談に乗ってくださる先生や勉強を教えてくれる仲間のおかげで勉強と部活の両立をすることができました。高校は理系先進クラスで、勉強意欲の高い仲間と共に学ぶことができてとても刺激的な環境でした。教科の垣根を越えたstemや科学探究などの授業では、答えのないものを自分なりに考える力がついたと思います。このクラスで理系科目を突き詰めていくことによって好きなことを学ぶ楽しさも実感し、進路を決めるきっかけとなりました。勉強だけでなく部活や学校行事に積極的に参加して、ぜひ駒込での学校生活を全力で楽しんでください！！

TOPICS

中学入試

『算数1科または国語1科 特待入試』

2月2日(日)午後入試に、『算数1科または国語1科入試』を昨年に続いて実施。合格者は授業料が3カ年または1カ年無償の特待入試となります。またその他の回でも成績優秀者には各回ごとに6種類の特別奨学金がすべて適用されます。